

いみず



街頭募金活動をする民生委員と地域の子どもたち
10月1日 新湊曳山まつり

赤い羽根は小さなことをたくさんしています。

赤い羽根共同募金



運動期間 平成29年10月1日から平成30年3月31日

お問い合わせはこちらまで【ご意見・ご感想などございましたら、ぜひお寄せください。】



社会福祉法人 射水市社会福祉協議会

〒939-0274 射水市小島700番地1
◆総務課 ☎52-5010

E-mail : honsho@imizushakyo.jp
ホームページ : <http://www.imizushakyo.jp/>

この広報誌は、一部共同募金の助成を受けています。

モバイル版は
こちら!



バーコードリーダーで
読み取りアクセス!



第12回 射水市社会福祉大会

「寄り添うまちづくりのために」

第一部

式典開催

射水市の社会福祉に貢献された42名4団体の方々へ、射水市社会福祉協議会長 宮城澄男より表彰状の授与ならびに感謝状の贈呈が行われました。

○社会福祉事業協助者

ボランティア活動に多大な貢献をされた方々に贈られました。

(個人)

徳中 紀子 松本 和子
高田萬寿子 前田テル子
岩井久美子 澤田 農行
森田クニ子 向野八重子
澤 祥子 松隈 照子
奥 喜代美 中波ミヨ子
西村 康子 前田登美子
四日 恵子 堀 多喜代

○寄付者感謝状

本会に10万円以上のご寄付を賜りました方々に贈られました。

(個人)

野崎 明美

(団体)

富山桜吟会
射水市立新湊中学校生徒会

※敬称略

○社会福祉事業関係者 及び団体

長きに渡り社会福祉活動に多大な貢献をされた方々に贈られました。

(個人)

林 弥生 旭 邦彦
森永 照子 砂原 満
金瀬 隆 高橋みゆき
海老江幸子 塩井 康子
佐野 武彦 串田 伸男
北田 律子 板坂 憲司
関原 明美 門嶋 幸子
山崎 洋子 湯尾田鶴子
浦上勇貴有 古谷 敏美
佐藤 悦子 大垣咲千子

(団体)

射水市家庭教育アドバイザー

連絡協議会

櫛田福寿会

○社会福祉事業 協力援助者感謝状

民生委員・児童委員の活動に対し積極的に協力、援助を行った方々に贈られました。

井上 修 久々江ます美
油谷なみ子 丸山 幸一
石黒 曉美

平成29年10月4日、アイザック小杉文化ホールラポールにて「第12回射水市社会福祉大会」が開催されました。市内の福祉関係者および一般来場者を含め500名を超える参加のもと、盛大な式典となりました。大会では、決意を新たに「互いに助け合い支え合うまち 射水」の実現に向けて、一層努力することを宣言し、「福祉人材の育成および幅広い年齢層へのボランティア活動に対する参加推進とボランティア・NPO等の協働に対する支援強化」、「地域福祉推進の場づくりと拠点整備」「包括的な共生社会の実現」など11点を掲げ、参加者一同で決議を行いました。



第二部

基調講演

金城大学社会福祉学部教授の内慶瑞先生より「寄り添うまちづくりのために」と題し、基調講演が行われました。

先生は「今日、地域には8050、ダブルケア、SNEP、生活困窮など様々な新しい課題があります。こういった地域にある『問題の芽を摘むこと』が地域福祉ではありません。その芽がなぜ芽生えたのか？どうすれば問題の芽に対応できるのか？について住民みんなで考え実行することが地域福祉です。射水市は地域振興会を中心にコミュニケーションセンターを、市民活動の拠点とする戦略的なまちづくりに取り組んでおられ、パワーを持った住民が自ら起こす行動を支える体制があります。この環境をおおいに活かすべきです。一人一人の、ほんの少しの目配り・気配りでネットワークが広がり、『困った』と言える素敵な問柄のご近所づきあいが生まれ育ちます。今風の当たり障りのない範囲の行為で成り立つ『向こう三軒両隣』を実践し、無理のない範囲で徳のおすそ分けをすることで得が返ってくる『お互いさまを分かち合う』ことが大切です。お互いさまの助け合いは循環していくものなのです」と寄り添いあうまちづくりについて各地の支え合いの事例を交えて話されました。



※8050・・・高齢の親（特に母親）と50代の子（特に息子）の世帯
※ダブルケア・・・介護と育児が同時に行われる世帯
※SNEP・・・家庭や地域から孤立する無就労者

第三部

シンポジウム

「住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けるために、

今、何ができるのか？」

内慶瑞先生の基調講演の後、地域包括ケアシステムに関わりのある4人のシンポジストが射水市での寄り添うまちづくり実現に向けた取り組みを報告していただきました。



地域包括ケアシステム

構築にむけての取り組み

寄り添うまちづくりのために

射水市長

夏野 一元志 氏

今後、高齢者が増加していくことを背景に市は全力で地域包括ケアシステムの構築に取り組んでおります。そのために地域支え合いネットワークモデル事業を開始し、平成33年までには市内全体に広がることを目指しています。また、介護予防としては『きららか射水100歳体操』を普及しております。そして関係機関の協力を受け、医療や

介護の連携が必要なきには、切れ目のなく提供できる体制を整備しています。今後は高齢者が安心して暮らせる地域づくりから、誰もが安心して暮らせる地域づくりに地域包括ケアシステムを深化・推進し、地域共生社会の実現を目指していきます。住民の方々は『我が事』としてお力を発揮していただくとともに、行政は縦割りではなく『丸ごと』支援していけるように連携を図っていきます。



地学一体へ向けて

地域資源としての短大

富山福祉短期大学看護学科 教授

炭谷 靖子 氏

ビジョン（将来の構想や展望）・ミッション（任務・使命・やるべきこと）・パッション（情熱）・アクション（行動）私が好きな言葉です。力や情熱・思

いがないと行動が起きない・起こせないのです。まずは思い（パッション）が必要です。思いを成し遂げるには、体力も環境も必要不可欠です。それには自分自身が心身ともに健康であること。健康な方々の集まる場所は気持ちにゆとりが生まれ、思いやりを持てる空間となり、環境が整っていきます。円を重ねるようにネットワークを増やし広げていった結果、安心・安全なまちができるのです。富山福祉短大では、『地学一体』をコンセプトに地域と共に学び合い、地域の課題解決に主体的に取り組むことで、これからの若者にむけて若者自身が地域を理解し、地域で活躍することで地域から求められる人となるよう、人材の育成に力を注いでいます。



地域支え合い事業実践者報告
南太閤山社会福祉協議会 会長

高島 秀五郎 氏

まず、事業に取り組むにあたり地域課題会議を通じて、自分たちの地

域を見つめなおし、自分たちに何ができるのかを考えました。その結果、生まれた集いの場（♡ハートみなみ）であるからこそ、『住民主体』となり軌道に乗せていこうという意識が高まるのだと思います。地区発・住民発のご近所力で一人一人が役割を持ち、やりがい・楽しみを感じてみんなが主役の集いの場を目指してきます。地域のことは地域全体で取り組む、福祉の取り組みは継続していくことが大切なので、地域一丸となつて取り組み、みんな一緒に自分たちの住む南太閤山を良くしていきたいと思っています。



射水市社会福祉協議会が地域の皆さんと一緒に今、取り組んでいること

射水市社会福祉協議会 会長

宮城 澄男

今、何をすべきかを考える中で大切なのは、支援する人もされる人もその人のできる範囲・持てる力の範囲でみんなが参加することです。

射水市はハード面（地域住民の活動の拠点整備等）では市長が述べたように既に充実していると言えます。射水市は環境的には他市より一歩も二歩も前に進んでいます。だからいまこそ、ソフト面として『いみず型』の人づくりを皆さんといっしょにもっと進める時期が来ていると言えます。地域住民だけの力だけではなく、専門職（市社会福祉協議会をはじめとする市内の社会福祉法人）を巻き込み、協働して地域を考え、地域をつくるべきです。

4名の発表について、どの立場にも共通することとして目配り、気配りをし、息長く進めていくことが大切とコメントされました。そしてこのシンポジウムを通じて全ての参加者が、誰もが住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けるために、自分たちができることを考え、『我が事』として今後も寄り添いあうまちづくりに積極的に取り組んでいくことを確認しました。本大会では、『互いに助け合い支え合うまち射水』をつくる大きな一歩になりました。射水市社会福祉協議会は今後も地域住民の皆様とともに、この実現に向けて推進してまいります。



※地域包括ケアシステム・・・高齢者が生きがいを持ち、可能な限り地域で自分らしい生活を送ることができるよう、医療・介護・介護予防・住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制
※地域支え合いネットワークモデル事業・・・高齢者が住み慣れた地域でいつまでも暮らせる地域づくりを目指す事業。地域での支え合い体制づくりのため、三層にわかれた生活支援コーディネーター（第1層には保健師OB、第2層に地域包括支援センターの専門職員、第3層に実施している地域から選出された方）が配置されている。



射水のまちを良くするしくみ

赤い羽根共同募金



昨年度、射水市で12,131,295円のご寄附をお寄せいただきました。このうち、7,154,000円が射水市内の申請団体へ助成され、地域福祉に活用されました。心より感謝申し上げます。

今年も10月1日より赤い羽根共同募金運動がはじまりました。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



転 ばぬ先の アドバイス

食事編
③

～おいしい減塩食で、循環器病を予防
誰でも、すぐにできる減塩法～

子どもの10人に4人が生活習慣病予備軍と言われており、成人の3人に2人が脳卒中や心臓病につながりやすい高血圧と診断されています。

これらの予防には、規則正しい生活習慣と「減塩」「体重管理」が有効です。毎日の食事を見直してみませんか？

ポイント

- ・ 素材そのものの味や風味を楽しむ
- ・ 味噌汁は具たくさんにして汁の量を減らす。
- ・ 麺類の汁を残す

食べ合わせ

カリウムを多く含む食材を摂り入れる



料理のコツ

- ・ 新鮮な旬の材料を使用し、素材の持ち味をいかす
- ・ 昆布や鰹節などが持つうまみ成分やダシを利用
- ・ 柑橘類（みかんや柚子など）、酢の酸味で味にメリハリをつけ薄味をカバー
- ・ 薬味、香辛料、香味野菜で風味付け
- ・ ゴマ、ピーナッツ等の香り高い種実類でコクだし

◆地区社会福祉協議会とは？

略して「地区社協」とよばれ、市内には27の地区社協が組織されています。地域の「困ったなあ」をご近所パワーや地域の力でできることはないかを考え助け合いをしています。



▲七夕飾りを作ろう



▲手作り飛行機で遊ぼう

地区社協活動紹介

毎月、最終金曜日、池多コミュニティセンターは「ちびっ子サロン」に来る子どもたちの笑い声でとてもにぎやかです。このサロンは、主に子育てがひと段落した世代（おばあちゃん世代）が中心となり、「子どもは地域の宝。皆で守り育もう」という思で立ち上げ、子どものすこやかな成長とお母さんたちに子育ての楽しさや喜びを感じてもらおうと開催しています。内容は伝承遊び（お手玉、コマ回しなど）やクリスマス会などの季節に応じたお楽しみ会で、主に保育園帰りの親子が参加してくれます。このサロンを始めたことで、参加親子が楽しみ喜んでくれることはもちろんのこと、開催スタッフ自身も子どもたちの元気と明るさのおかげで、毎回元気パワーをもらい若返っています。

その他の地域福祉行事では高齢者との昼食会やペタンク大会、餅つき大会など地域の方が気軽に参加できる行事を計画するよう心がけています。また、今年度より「池多社協だより」を発行し、地域の情報や課題を発信しています。今後も住民の方々とのつながりを深め、住みよい地域づくりを目指していこうと思っております。

松岡 信昌

地区の特徴・歴史

市の南東部に位置し、土代・椎土・山本新・小杉北野の4町内と太閤山東県住の5町内で構成されており、畑作地帯が広がっている。特産物として大根、千石豆、すいかなど様々な野菜が出荷されている。中でも「池多りんご」は完熟で収穫することから食味が良く評価が高い。

地区社協からひとこと

地域振興会、住民、社協が一体となり、支えが必要になっても、安心して住み続けられる地域を目指していきます。

【会 長】 松岡 信昌

【設立年月日】 平成18年12月21日

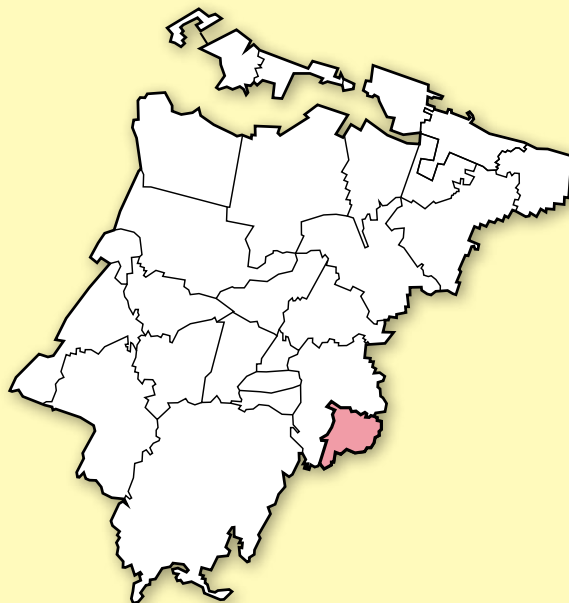
【人 口】 996人（平成29年1月31日現在）

・世帯数 362世帯

・高齢者数（65歳以上）302人

高齢化率30.3%

・児童数（小学1～6年生）71人



Hello!

ぼらんていあ

ボランティア推進校活動紹介

富山県立新湊高等学校

ボランティア部 部長 宮川理瑚

新湊高校ボランティア部では、ペットボトルのリサイクル、校内の普段見落としがちな場所の清掃、被災地への募金活動を行っています。

また、毎月1回学校近くの六渡寺海岸で地域の方と一緒に海岸清掃を行い、地元の環境美化活動に取り組んでいます。



▲六渡寺海岸の清掃の様子



▲万葉苑へ訪問し踊りを披露

春から地域の老人ホームへの訪問を繰り返し、お年寄りの方とふれあい、夏休みには施設の方と一緒に夏祭りに参加し、皆さんが楽しんで頂けるようお手伝いをしました。私たちはボランティア活動を通して、積極的に地域とのつながりを深めていきたいと考えています。これからも幅広い分野で様々なボランティア活動に積極的に取り組んでいきたいです。

掲示案内

射水市ボランティア推進校活動紹介壁新聞

市内にある小学校・中学校・高校（ボランティア推進校）が作成した、ボランティア活動や福祉教育に関する壁新聞を掲示します。日ごろ、学校や子どもたちが取り組んでいる活動を、ぜひご覧ください。多数のご来場をお待ちしています。

【会場・日時】

★大阪屋ショップ アプリオ店

11月13日(月)～11月21日(火) 小学校

11月22日(水)～11月30日(木) 中学校・高校

★射水市役所本庁舎 1階エントランス

12月7日(木)～12月21日(木) 小学校・中学校・高校



▲昨年度の様子

福祉のためのご寄附 ありがとうございました

(平成29年7月～9月 敬称略)

〈社会福祉事業〉

射水カラオケ会 32,258円

〈善意銀行〉

緑町自治会 10,000円

江柱町獅子方 10,000円

音楽レクリエーション ボランティア養成講座

この講座では、地域ふれあいサロンや福祉施設などで、音楽に合わせて参加者や利用者と一緒に歌ったり、身体を動かす活動をするボランティアを養成します。お気軽にご参加ください。



日時

第1回 11月17日(金) 9:30～11:30

第2回 11月24日(金) 13:30～15:30

第3回 12月1日(金) 9:30～11:30

場所 大島社会福祉センター 2階 研修室
(射水市小島700番地1)

講師 日本レクリエーション協会公認指導
インストラクター 本江 春枝 氏
日本音楽療法学会認定音楽療法士
増田 羊子 氏

受講料 無料

定員 20名程度(全3回出席できる方)

申込締切 11月13日(月)

問合せ・申込先 地域福祉課
TEL: 52-5190
FAX: 52-5852



受講者募集



市民後見人養成講座

成年後見制度に関する基礎的な理念や知識などを習得し、判断能力が十分でない方の生活を身近な立場で支援する市民後見人養成講座を開催します。

日時 平成29年

11月21日(火)、22日(水)、29日(水)、30日(木)、

12月6日(水)、7日(木)

会場 大島社会福祉センター

※詳細は射水市社会福祉協議会ホームページに掲載しています。

問合せ・申込先

地域福祉課 TEL 52-5190 / FAX 52-5852

ひとりで悩まず一度ご相談ください。

相談無料 秘密は守ります

心配ごと相談

◆日常生活の心配ごと、悩みごとの相談

相談時間

相談員

13:30～16:00

民生委員・児童委員



相談場所	相談日				問合せ先
	11月	12月	H30 1月	2月	
新湊交流会館	2日 16日	7日 21日	18日	1日 15日	新湊支所 ☎82-8450
小杉社会福祉会館	6日 20日	4日 18日	15日	5日 19日	小杉支所 ☎55-2813
大島社会福祉センター	7日 21日	5日 19日	16日	6日 20日	地域福祉課 ☎52-5190

自立支援相談

◆仕事や生活に困っている方の相談

相談時間

月～金曜日(祝日を除く) 9:00～17:00

相談場所

大島社会福祉センター

問合せ先

射水市生活自立サポートセンター
(地域福祉課内) ☎52-7080

編集後記

この広報を編集している時に、カズオ・イシグロ氏のノーベル文学賞受賞が発表されました。5歳で渡英し英国の大学院に進み小説を書き始め20代で英国籍を取得、英語文学賞(コスタ賞)も受賞している彼は、日本語は聞きとれるけど話せないし書けないので、普段から英語で会話をし、執筆活動はもちろん英語です。しかし、彼は受賞後「私の世界観には日本が影響している。私の一部はいつも日本人だと思っていた。」と会見で発表しています。幼き日の想いや経験は、人の深部に残りいつまでも色あせず忘れぬものなのだと感じた一言でした。よろしければ皆さんも、彼の作品を読んでみませんか?

次号▶No.49 H30.2月発行

赤い羽根 まちがいさがし

わかるかな？ 上と下の絵をみて
7つのまちがいをみつけてね！



まちがいは7つです。

7つ見つけた正解者の中から抽選で10名様に図書カード1,000円分をプレゼント！

応募方法

7つのまちがいに○をつけて、住所・氏名・年齢・アンケート・「福祉いみず」の感想・社会福祉協議会の活動についてのご意見を記入のうえご応募ください。

※記入いただいた個人情報は、プレゼントの発送にのみ使用いたします。

当選は、発送をもってかえさせていただきます。

応募締切

12月8日(金) 必着

◆ アンケート ◆

当てはまるものを○で囲んでください。

* 射水市社会福祉協議会を知っていますか？

知っている・聞いたことがある・知らない
その他（ ）

* 福祉いみずについてお聞かせください。

『福祉いみず』を読んでいる。（年4回発行）

毎回読んでいる・気になったところは読む
目をとおすだけ・読んだことはない

* 掲載内容について。

よくわかる・ややわかる・あまりわからない
わからない

* 「福祉いみず」の感想・社会福祉協議会の活動についてのご意見ご要望

7つのまちがいに○をつけてね！

〒
住所

氏名

年齢 歳

男 ・ 女

電話番号

8月号のまちがいさがしに、たくさんのご応募、ありがとうございました。

【お詫びと訂正】

7つのまちがいさがしと表記しましたが、8つの間違いがあったことが、応募者の皆さまからのご連絡で分かりました。大変申し訳ありませんでした。よって、今回は応募者全員の中から抽選とさせていただきました。応募総数 174名 寄せられたみなさんの声をいくつか紹介します。

今まで子どもがまちがいさがしをするまで見たことがなかったのですが、最近よく読むようになり、毎日の生活に役立つようになりました。(40代 女性)

福祉にはいろいろな役割があり、活動されていることにびっくりして興味関心を持ちました。(10代 男性)

ためになる話題も多く、色々な講座にも興味があり、受講しようかと思案中です。社協の取り組んでいる事柄がわかってきました。(60代 女性)

地域のことがよくわかっていいです。転ばぬ先のアドバイス食事編のような記事がもっとあればよいと思います。(90代 女性)

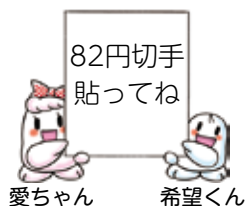
8月号まちがいさがし答え



《8つのまちがい》

- ビーチボールの配色
- カニの目
- 氷の文字の色
- 貝のむき
- 希望くんの足
- ストローの向き
- ヨットの位置
- シャチの遊具がイルカになっている

下記の【封筒の作り方】を見て、のりづけしてご応募ください。



〒939-0274

射水市小島700-1

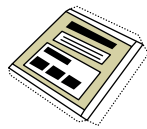
社会福祉法人
射水市社会福祉協議会 行

福祉いみず No.48

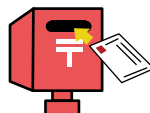
封筒の作り方



①切り取り線に沿って、紙面から切り取り、この面が外側になるように中央を折ります。



②あて先を下にして、のりしろを図のように貼り合わせます。



③82円切手を貼ってお近くのポストへ投函してください。